

弘前大学学報



西目屋村（暗門の滝 第三の滝）

第 66 号
平成21年9月号

学内ニュース

○平成21年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式告辞 弘前大学長 遠藤正彦	1
○平成21年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式を举行	2
○弘前大学教育セミナーを開催	3
○人文学部とフィンランドのヘルシンキ大学地域研究所が学部間協定を締結	4
○弘前大学附属図書館利用者対応研修を実施	5
○2009年度弘前大学シニアサマーカレッジを実施	6
○「第3回学生相談を考える会」を開催	7
○弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」の御披露目式を举行	8
○文京町団地合同消防訓練を実施	9
○「附属中学校男子水泳部」東北中学校水泳競技大会成績を学長へ報告	10
○弘前大学でGPAに関する講演会を開催	11
○成田彦栄氏考古資料 感謝状贈呈式及び収蔵展示室開設式を举行	12
○地方独立行政法人青森県産業技術センターと連携に関する協定を締結	13

諸会議

-----	14
-------	----

人 事

○人事異動	17
-------	----

主要日誌

-----	18
-------	----

学内規則

-----	19
○ 国立大学法人弘前大学事務組織規程の一部改正	
○ 国立大学法人弘前大学知的財産ポリシーの一部改正	
○ 国立大学法人弘前大学知的財産取扱規程の一部改正	
○ 弘前大学知的財産本部規程の制定	
○ 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正	
○ 弘前大学男女共同参画推進室運営規程の制定	

平成21年度 弘前大学及び弘前大学大学院秋季学位記授与式 告 辞

本日、平成21年度秋季学位記授与式に当たり、学位記を授与された皆さん、誠におめでとうございます。本日授与された方は学部23名、大学院博士前期課程（修士）1名、大学院博士後期課程（博士）8名、計32名です。この中に、3年前大学院の博士後期課程を秋季に入学し、この9月修了の理工学研究科の方1名、また修業年限短縮制度により修業年限を短縮して修了となった方1名も含まれています。いずれの皆さんも、高等教育を受けて優れた社会人になろうとの希望と、両親始め肉親等関係者の期待とを担って努力し、本日までたくその希望をかなえ、そして期待に応えての学位記が授与されたものです。皆さんの努力に敬意を表します。

皆さんの門出に対して、一言はなむけの言葉を贈ります。

皆さんが弘前大学又は弘前大学大学院に入学した当時に比べて、弘前大学は大幅に発展し、変わってきました。校舎、キャンパスはきれいになりました。教育・研究の設備も一段と充実してきました。教員の研究も、社会貢献も成果をあげてきました。

そして、何よりも皆さんを含む学生が大きく大きく変わってきました。ある教員の話では、学生の欠席も少なくなったとのこと。学生の卒業論文が国際誌に掲載されたり、また学会賞を受賞することが多くなりました。そして、学生は、スポーツ大会などで優秀な成績をあげるようになりました。

そして何といても、平成19年度と20年度の卒業生の就職率は、統計のない医学部を除く人文、教育、理工、農学生命の各学部で、全国のベスト10以内となりました。教職員は驚いています。

弘前大学のこれらの動きに、弘前市民が目を見はり驚いています。そして、近隣の国公立大学が、弘前大学の変貌ぶりに一様に驚いています。

皆さんの卒業される弘前大学は、前とは大きく変わってきたのです。皆さんは、自分の卒業する大学・母校に特段の誇りをもっていたと思います。皆さんは、これを抛り所にして、自信を持って社会にはばたき、誇りを持って社会で活躍してほしいと願います。

これから皆さんを待ち受けている社会は、皆さんが想像している以上に厳しいものと思っ下さい。しかし、それを克服するのは、皆さんの弘前大学を卒業したという誇りと自信です。

皆さんは社会に出て心にゆとりができたとき、ふと弘前大学を思い出すことがあるでしょう。私もそうでした。社会に出て、あることで他大学出身者と競争していたとき、ふと母校・弘前大学を思い出しました。その時は、現在のように整備の進んだキャンパスではなく、木造の元小学校を大学の校舎として使った古い研究棟でした。でも母校は母校で、私の強い励ましとなりました。

皆さんは将来ゆとりができた時、ぜひ母校を訪ねてきて下さい。弘前大学はもっと変わっているでしょう。母校を想うことは母校愛です。

皆さん、弘前大学出身であることを誇りとし、そして自信として、社会に出て自分の本領を発揮して活躍されるよう祈ります。

皆さんの希望あふれる未来に向かってエールを送り、告辞とします。



平成21年9月30日

弘前大学長 遠藤 正彦

弘前大学教育セミナーを開催

本学では、平成15年度から岩手大学及び秋田大学との北東北国立3大学連携協力に取り組んできました。その事業の一環として、ヨーロッパにおけるバルチック・ユニバーシティ・プログラム（バルト海域の持続可能な発展を目指す教育プログラム）の創設以来の中核的リーダーであるフィンランド共和国オーボ・アカデミー大学生涯教育センター所長のポーラ・リンドローズ教授を招聘し、9月2日（水）に教育セミナーを開催しました。

セミナーでは、フィンランドにおける教育力向上への取り組み、教育に関する制度及び教育事情など、高等教育に限らず初等・中等教育に関わる内容の講演をリンドローズ教授に行っていただきました。

当日は、学内の教職員のほか、他大学及び小・中学校教育関係者など学外からの参加者14名も含めた40名の参加者は、リンドローズ教授の講演に熱心に耳を傾け、フィンランドにおける教育事情について、活発に質疑を行うなど、盛況のうちに終了しました。



質疑に応答するリンドローズ教授

人文学部とフィンランドのヘルシンキ大学地域研究所が 学部間協定を締結

本学人文学部とヘルシンキ大学地域研究所（University of Helsinki, Ruralia Institute）は、地域の活性化を主な研究テーマとし、研究者の交流による国際的な研究の促進を目的として、9月7日に石堂人文学部長らが同研究所を訪れ、今後の研究交流に関する協定を締結しました。

今回の協定は、人文学部の教員が学術国際振興基金助成事業により行ってきた北欧の産学官連携に関する調査がきっかけとなり実現したものです。

ヘルシンキ大学地域研究所は、フィンランドで最も長い歴史と最大の規模を持つヘルシンキ大学の独立研究機関で、フィンランドの首都ヘルシンキから数百キロ離れたセイナヨキ市、ミッケリ市の2つの地域に立地し、都市から離れた地方における活性化の研究をしています。

また、本学人文学部には地域政策に関心の深い教員が複数存在し、附属の雇用政策研究センターが地域に関する研究を行っていることや、本学の立地する青森県も首都東京から数百キロ離れた場所に存在することから、調査を進めるうちに両組織の共通性が認識されるようになり、双方で研究交流を発展させたいとの意思が生まれたことが協定調印の原動力となりました。

フィンランドは、産学官連携における世界的な先進地域であり、地域活性化を設立の目的としたフィンランドの研究機関との交流は、人文学部における今後の研究や地域貢献のあり方に大きな影響を与えることが期待されています。



記念品の校章入りのブナコを手にするKurki所長



協定書にサインするKurki所長と石堂人文学部長



Ruralia Instituteにあるセイナヨキのサイエンスパーク



関係者による記念撮影

弘前大学附属図書館利用者対応研修を実施

本学附属図書館では、9月9日（水）ビジネスマネジメントが専門の森樹男人文学部教授をアドバイザーに迎え、利用者対応の職員研修を実施しました。

この研修は、日常業務を客観的な視点から見直し、今まで気づかなかった課題や問題点を発見し、利用者対応の改善につなげることを目的として実施されました。

研修では、利用者対応の様々な状況を想定したグループ討議が行われた後、課題ごとにロールプレイングによる実習が行われました。ロールプレイングの実習では、いくつかの改善点が発見され有意義な実習となりました。

本学附属図書館では、この研修を通して利用者対応についてのスキルアップと情報共有を行い、利用者サービスの向上に活かしていきたいとしています。



ロールプレイング実習の様子

2009年度弘前大学シニアサマーカレッジを実施

本学は、平成18年度の事業開始から継続して開講している唯一の大学として、今年度で4回目となるシニアサマーカレッジを、8月31日（月）から9月11日（金）までの2週間にわたり実施しました。

今年度は、津軽地域や青森県の歴史、文化、自然をテーマとした講義を大幅に増やし、特に、今年生誕100年を迎えた作家 太宰治については、2週間のうちの2日間を充てて開講するなど工夫を凝らした結果、例年を上回る35名に受講いただきました。

初日には、開講に先立ち入学式が行われ、主催者側から、遠藤学長及び共同主催の株式会社ジェイティービーシニアカレッジ事務局の長津氏による挨拶の後、後援側である青森県から商工労働部の馬場観光局長及び弘前市長代理として商工観光部の佐藤観光物産課長から挨拶をいただきました。

また、講義後はウェルカムパーティを行い、パーティでは本学学生によるオーボエの演奏が行われ受講生の耳を楽しませました。

講義は第1週、第2週各12講義の計24講義を開講しました。第1週の講義では、弘前城、亀ヶ岡文化、津軽三味線、弘前ねぶた、健康に関する講義などを行い、学外講義として、9月1日（火）には青森市の三内丸山遺跡において施設内を見学しながらの講義を、9月3日（木）には白神山地を散策しながらの講義を行いました。

第2週の講義では、太宰治、寺山修司、弘前ねぶた、青森の手工芸品、本学の卒業生に関する講義のほか、学外講義として、9月8日（火）には太宰治の小説「津軽」ゆかりの地をバスで巡りながらの講義を、9月10日（木）には本学附属藤崎農場において実際にリンゴの樹を見学しながらの講義を行いました。

9月11日（金）の、最終講義の後には、閉講にあたり修了証書授与式が行われ、遠藤正彦学長から受講生一人一人に修了証書を手渡しました。

引き続き記念撮影の後、さよならパーティを開き、受講生相互及び講義を担当した講師との交流を深めました。パーティでは、本学教育学部教授で生涯学習教育研究センター長でもある、浅野教授のピアノ演奏が披露され、受講生は耳を傾けつつ、別れを惜しんでいました。



附属農場でのリンゴの講義風景



白神山地での講義風景

「第3回学生相談を考える会」を開催

本学では、9月11日（金）に多様化・複雑化する学生相談に適切に対応し、学生の支援体制を充実させようと、教育・学生委員会と保健管理センターが中心となり、教職員を対象にした研修会「第3回学生相談を考える会」を総合教育棟101講義室において開催しました。

考える会は、カウンセラー、教員、事務系職員の連携によって学生相談が進展し大学全体として広く学生を支える体制の充実及び近隣の大学、短期大学、専門学校等と連携・情報交換を行う目的で開催され、県内外の高等教育機関教職員46名が参加しました。

まず、高梨保健管理センター所長による「心と身体について」の講演があり、次に参加者からの事例に基づいて、田名場同センター准教授、高橋講師、学外カウンセラーと参加者による意見交換が行われました。



高梨所長による講演の様子



意見交換する参加者

弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」の御披露目式を挙

本学では、創立60周年を記念して、産学官連携・社会貢献の機能を一元的に集約した複合ビル「コラボ弘大」が建設されたことを受け、披露式を9月15日に挙行し、大学関係者のほか産学官関係の来賓など約90名とともに祝いました。

「コラボ弘大」は、地上8階建てで大学院地域社会研究科、生涯学習教育研究センター、機器分析センターの教育研究部門と関連管理部門が入居し、既設の地域共同研究センターと合わせて本学の産学官連携・社会貢献の拠点機能を担います。

また、5階と6階には研究開発型の企業、インキュベーション企業、公設の研究機関、大学の教員・学生の研究を支援するためのレンタル・ラボ、最上階の8階には八甲田連邦が一望できるイベントホール「八甲田ホール」が設置されており、セミナー、シンポジウムが開催できるようになっています。

披露式では、遠藤学長が「学内の産学官連携機能を集約した同会館を中心に、共同研究や社会貢献事業を強力に推進したい。」と挨拶を述べた後、来賓の相馬弘前市長の祝辞に続き、同会館の見学会を行いました。

なお、披露式に先立ち行われた弘前大学と産業界との産学官連携に関する意見交換会では、活発な議論が行われ、特に産業界からは、観光ニーズは多様化してきており、従来型の祭りや観光地を紹介する形の観光では対応できなくなっており、弘前大学のサイエンスパーク等は観光資源として十分な目玉であること、また、産学官連携事業においては、成功例を多く挙げて共有することが、地域振興にとって重要であるなどの意見が出され、貴重な交流ができた一日となりました。



挨拶する遠藤学長



見学会で大学職員の説明を受ける来賓の方々

文京町団地合同消防訓練を実施

本学では、9月17日（木）に文京町団地合同消防訓練を実施しました。

この消防訓練は、職員が有事の際、通報・避難・消防等に迅速かつ、的確に対応できるように基礎的訓練を実施し、職員の防災意識の高揚を図る目的で行われたものです。

午前には、各管理区域単位で、地震による火災の発生を想定した避難訓練を実施し、火災発見からの流れとして、消防署への119番通報、模擬の初期消火、避難経路の確認等を行いました。

また、午後には多目的グラウンドにおいて実際に消火器操作訓練を行いました。普段触れることのない消火器を体験する貴重な機会ということもあり、参加した職員・学生は訓練用に用意された実際の炎を真剣な様子で消火していました。

最後に、遠藤学長の講評を受け、本学の災害対策を今後もさらに進めていくことを確認しました。



避難訓練の講評を行う消防隊長



搬出班より重要書類等運搬完了の報告を受ける消防隊長



初期消火作業を行う消火班



午後に行われた消火器消火訓練

「附属中学校男子水泳部」東北中学校水泳競技大会成績を学長へ報告

9月17日（木）、教育学部附属中学校男子水泳部員一行が遠藤学長を訪ね、8月8日から10日にかけて開催された東北中学校水泳競技大会において、男子総合優勝など優秀な成績を収めたことを報告しました。男子総合優勝は、附属中学校ではこれまで例がなく、初めての快挙でした。

はじめに、生徒たち一人一人が自己紹介と共に各々の成績を述べ、遠藤学長からは賞賛の言葉がありました。生徒たちは緊張した様子でしたが、遠藤学長が子供時代のことをユーモアたっぷりに話されたことをきっかけに場がなごみ、将来の夢や学長への質問などが飛びだし、終始にぎやかに懇談が進みました。

最後に、遠藤学長を囲んで記念撮影を行い、学長から握手と共に弘前大学オリジナルグッズが贈られ、生徒たちは喜びと感謝の笑顔で学長室を後にしました。今回の学長への訪問は、生徒たちにとって、忘れられない貴重な思い出となりました。

◎成績

第41回東北中学校水泳競技大会（平成21年8月8日～8月10日 於秋田県立総合プール）

★男子総合優勝

男子400mメドレーリレー優勝

男子400mリレー入賞

男子背泳ぎ100m準優勝、200m準優勝（東北中学校新）

男子平泳ぎ100m入賞



学長を囲んでの記念撮影

弘前大学でG P Aに関する講演会を開催

本学では、平成20年12月の中央教育審議会答申「学士課程教育の構築に向けて」でも取り上げられているG P A制度について、カリキュラム改革、キャップ制、授業改善などを総合的に検討する必要があることから、既にG P A制度を含めた総合的な取り組みを実施している北海道大学の高等教育機能開発総合センター高等教育開発研究部長である安藤教授を招聘し、9月18日（金）にG P Aに関する講演会を開催しました。

当日は、学外からの参加者7名を含め、約30名が参加し、講演の後の質疑応答で、G P A制度を含めた総合的な教育改善について、意見を交わしました。



講演する安藤教授

成田彦栄氏考古資料 感謝状贈呈式及び収蔵展示室開設式を挙

青森市在住の成田恵子氏から、義父・成田彦栄氏（1898～1959）が長年にわたり収集した3000点を超える考古遺物ならびに考古学・郷土史関係の図書約2200点などを本学に寄贈していただきました。寄贈された考古資料の保存・活用は人文学部附属亀ヶ岡文化研究センターが行うことになり、「成田彦栄氏考古資料収蔵展示室」を設置しました。

9月24日に、成田恵子氏及び寄贈に尽力していただいた青森県埋蔵文化財調査センター 副参事 成田滋彦氏に対し、遠藤学長から感謝状及び記念品が贈られました。その後、収蔵展示室の開設式を行い、遠藤学長、成田恵子氏、成田滋彦氏、石堂人文学部長及び関根亀ヶ岡文化研究センター長によるテープカットが行われました。

寄贈された資料は、青森県立郷土館所蔵の風韻堂^{ふういんどう}（大高コレクション）や、八戸市是川遺跡出土品（泉山コレクション）とならび、考古資料の個人コレクションとしては、青森県内はもとより全国的にも非常に優れた個人コレクションです。

寄贈資料は、弘前大学創立60周年記念事業として10月24日に行われるシンポジウム「縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて」に合わせて、10月23日から11月1日まで、人文学部附属亀ヶ岡文化研究センター展示室で一般公開されます。

感謝状贈呈式



成田恵子氏（左），遠藤学長（右）

テープカット



左から石堂人文学部長，成田恵子氏
遠藤学長，成田滋彦氏，関根センター長

地方独立行政法人青森県産業技術センターと連携に関する協定を締結

本学は、今年4月に工業や農業など青森県の4試験研究機関が統合し、地方独立行政法人として発足した青森県産業技術センターと相互の密接な連携と協力により、地域における教育、研究及び技術の発展並びに産業振興及び経済発展に資することを目的として、9月28日に連携に関する協定を締結しました。

協定書調印式は、弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」で青森県産業技術センターから唐澤理事長、佐藤理事兼事務局長、鳴海企画経営室長、木野田総括企画経営監が、弘前大学から遠藤学長、加藤研究・産学連携担当理事、南條学長特別補佐、檜楨地域共同研究センター長が出席して行われ、唐澤理事長と遠藤学長が協定書を取り交わしました。

唐澤理事長は、「弘前大学にコスト評価や市場調査を行ってもらうことで商品化という出口を見据えた研究が可能になる。」と述べ、遠藤学長は、「これまでも同センターとは連携してきたが、協定締結により研究成果発信の環境が一層整う。」と期待を込めました。

当面の取り組みとしては、同センターが採択された経済産業省の補助事業である「植物工場」でエネルギーの低コスト化を目指して弘前大学の北日本新エネルギー研究センターと連携して研究を進めることとしています。



協定書を取り交わす遠藤学長（左）と唐澤理事長

■ 諸 会 議

▼役員会

9月7日（月）

審議事項

- 1 弘前大学入学者選抜試験問題調査委員会の調査結果について
- 2 弘前大学調査委員会の調査結果について
- 3 弘前大学調査委員会の調査結果について
- 4 平成21年度 移転・改修費及び予備費の追加配分について
- 5 弘前大学北日本新エネルギー研究センターと東京大学大学院新領域創成科学研究科等との協定について

報告事項

- 1 弘前大学男女共同参画推進室員について
- 2 平成21年度学長裁量経費事業計画について
- 3 コラボ弘大等の防犯対策について
- 4 平成22年度科学研究費補助金申請の基本方針について

9月14日（月）

審議事項

- 1 弘前大学大学院理工学研究科規程の一部改正について
- 2 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正について
- 3 弘前大学大学院農学生命科学研究科規程の一部改正について

報告事項

- 1 平成20事業年度財務諸表の承認について
- 2 弘前大学創立60周年記念会館「コラボ弘大」8階多目的ホールの名称について
- 3 管理下のない放射性同位元素等の一斉点検について

9月28日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正について
- 2 国立大学法人弘前大学監事監査規程の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学会計内部監査規程の一部改正について
- 4 弘前大学医学部附属病院放射線障害予防規程の一部改正について
- 5 国立大学法人弘前大学放射線安全管理規程の一部改正について
- 6 国立大学法人弘前大学利益相反マネジメント規程について
- 7 弘前大学における教育に関して優れた業績を上げた教員の表彰実施要項について
- 8 弘前大学成績優秀学生の表彰実施要項について

報告事項

- 1 平成21年度第一次補正予算について
- 2 環境報告書2009について

▼教育研究評議会

9月8日（火）

審議事項

- 1 弘前大学入学者選抜試験問題調査委員会の調査結果について
 - 2 弘前大学理工学研究科規程の一部改正について
 - 3 弘前大学農学生命科学部規程の一部改正について
 - 4 弘前大学農学生命科学研究科規程の一部改正について
 - 5 アイソトープ総合実験室長候補者の推薦について
-

報告事項

- 1 教員の人事について
 (1) 教員の採用・昇任
- 2 弘前大学男女共同参画推進室員について
- 3 医学部医学科の入学定員の増について
- 4 オープンキャンパスについて
- 5 国立大学法人弘前大学知的財産ポリシーの一部改正等について
- 6 青森県産業技術センターとの包括協定について
- 7 北日本新エネルギー研究センターと東北大学金属材料研究所との連携協定について
- 8 研究拠点形成費等補助金（「教育研究高度化のための支援体制整備事業」採択分）
 交付決定について
- 9 平成21年度北東北国立3大学連携推進研究プロジェクトの採択決定について
- 10 平成21年度科学研究費補助金申請の基本方針に基づく経費のインセンティブ配分について
- 11 弘前大学創立60周年記念事業 第2回「科学者発見プロジェクトテーマ賞」及び表彰式
 等について
- 12 津軽地域における産学連携に係る意見交換会及び「コラボ弘大」披露目式の開催について
- 13 委員会報告
 (1) 21世紀教育センター運営委員会
 (2) 教育・学生委員会
 (3) 学士課程教育協議会
 (4) 教育有識者懇談会
 (5) 研究・産学連携委員会
- 14 入学試験実施体制等に係る外部評価結果について
- 15 理工学研究科入学試験問題における出題ミスについて

▼教育・学生委員会

9月30日（水）

審議事項

1. 平成21年度FD活動について
2. 第6回学生生活実態調査専門委員会の設置について
3. 弘前大学体育施設使用細則の一部改正について

報告事項

1. 弘前大学教育セミナー及びGPAに関する講演会について
 2. 平成21年度「組織的な大学院教育改革推進プログラム」等の審査結果について
 3. 平成21年度前期「学生による授業評価アンケート」実施結果について
 4. 平成21年度後期「弘前大学高大連携公開講座」受講者について
 5. 平成21年度後期「弘前学院大学との単位互換」特別聴講学生について
 6. 学生相談を考える会について
 7. 東北地区体育大会 剣道競技について
 8. 平成21年度後期分授業料の月割分納及び徴収猶予について
 9. 平成21年度日本学生支援機構奨学生の追加推薦状況について
 10. 平成21年度学生相談インターカーセミナーについて
 11. 平成21年度全国学生指導研修会について
-

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年9月1日		原 和 正	一般職員(総・企)
平成21年9月8日		三 橋 真 紀	一般職員(医) [平成24年7月12日まで]
平成21年9月24日		桑 田 妃 奈 子	教諭(教・附幼) [平成21年11月2日まで]

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年9月1日	栄養士(教・附特)	川 村 優 美	栄養士(教・附特) [平成21年9月6日まで]
平成21年9月7日	栄養士(教・附特)	川 村 優 美	栄養士(教・附特) [平成22年3月31日まで]
平成21年9月28日	教諭(教・附中)	大 川 千 佳 子	教諭(教・附中) [平成21年11月22日まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年9月1日	主任(学情・研)	金 沢 伸 也	係長(学情・研)

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年9月5日	看護師(病・看)	小 林 明 子	平成23年9月30日まで
平成21年9月7日	栄養教諭(教・附特)	菊 地 純 子	平成24年3月31日まで
平成21年9月8日	一般職員(医)	小 豆 畑 早 苗	平成24年7月12日まで
平成21年9月21日	薬剤師(病・薬)	西 澤 三 保 子	平成21年12月31日まで
平成21年9月21日	任期付看護師(病・看)	對 馬 智 恵 子	平成22年3月31日まで
平成21年9月28日	看護師(病・看)	鈴 木 沙 織	平成24年3月31日まで

[退職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年9月30日	准教授(理工)	柳 岡 英 樹	辞職
平成21年9月30日	講師(病)	大 串 和 久	辞職
平成21年9月30日	助教(病)	岩 淵 郁 哉	辞職

■ 主要日誌

- 9月2日 大学教育セミナー
- 7日 役員会
- 8日 運営会議
教育研究評議会
学士課程教育協議会
- 11日 第3回学生相談を考える会
- 14日 役員会
- 16日 定例記者会見
- 17日 消防訓練
- 18日 教員免許状更新講習合同会議
GPAに関する講習会
- 28日 役員会
- 30日 教育・学生委員会

■ 学内規則

(平成21年9月1日改正)

○国立大学法人弘前大学事務組織規程

本学における教育研究高度化のための支援体制を整備することを目的に、学術情報部研究推進課に「研究高度化支援センター」を設置するため、本規程の一部を改正した。

(平成21年9月7日改正)

○国立大学法人弘前大学知的財産ポリシー

○国立大学法人弘前大学知的財産取扱規程

弘前大学知的財産ポリシーの定期見直しに伴う規定整備のため、知的財産ポリシー及び知的財産取扱規程の一部を改正した。

(平成21年9月7日制定)

○弘前大学知的財産本部規程

弘前大学知的財産ポリシーの定期見直しに伴う規定整備に伴い、本規程を制定した。

(平成21年9月15日改正)

○国立大学法人弘前大学管理運営規則

男女共同参画推進室の設置に伴い、本規則の一部を改正した。

(平成21年9月15日制定)

○弘前大学男女共同参画推進室運営規程

男女共同参画推進室の設置に伴い、本規程を制定した。

弘前大学学報第66号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111